

小美玉市が大好き！



まるごと実践チーム メンバー

たかす みさと
高須 美里さん

「これから先ずっと小美玉市から出たくないですね」と笑顔で話す高須さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.149

立冬を過ぎて鍋物やけんちん汁、おでんが美味しい季節になりました。日中は暖かな日が多く過ごしやすい、満開の山茶花や菊の花を見ながら散歩するのもいいですね。また、ふかふかに干した布団はお日様の匂いがして幸せな気持ちになります。今回は、まるごと実践チームのメンバーで小美玉市小川地区にお住いの高須美里さん取材します。

『まるごと実践チーム』って何をするとするだろうか？小美玉市をこよなく愛するメンバーで構成されており、地域の方が豊かで心地よい毎日を送るためにはどうしたら良いかを考えてくれています。地域の中で世代を超えてみんなが安心して交流・学習を通して楽しめる『たまり場』のようなところを創ってくれているチームです。

まるごと実践チームに入ってきたきっかけを聞いてみると、「小川地区で生まれ育った私を地元貢献に協力してくれるんじゃないか」という事で山口館長に声をかけてもらいました。仕事や子どもの習い事の送迎もあり、なかなか集まりに行けないのですが、ここに入っていることで、私の子どもが通う小学校にもお手紙が配られるので保護者の方からも『ありがとうございいます』って声をかけられて、少しは地元貢献できているのになって思います」と話す高須さんは、看護師でZUMBA(ズンバ)のインストラクターで3人の子どもの子育てで真つ最中でキラキラ輝いていました。

躍っていた美野里地区の人たちが小川も活性化させたいということでもアピオスを中心に活動しています。最初は会議だけでしたが行動に移して地区公民館を借りて実践できているので、地域の人たちも巻き込んでいきたいと思えます。子ども達がいっしょに行ってもいい所なんだなっていうのが理想です。そのため人手(ボランティア)が必要で、能力があっても活かされていない人も多いと思うので活躍してくれる人の発掘もしくちゃならないですね。子どもを少し預けて自分の時間を作ったり、仕事に行きたいと思う人もいると思うので定期的に決めて・・・そういうのもできたらいいなと思えます」と高須さんは笑顔で話してくれました。

私は子どもの頃、大自然の中で育ったので子ども達にもそうさせたい！っていう思いがあります。アピオスの近くに住んでいるのですが『うわっ！都会』って思ったくらいですから(笑)と高須さん。「みの〜れに足を運ぶようになったのは、娘たちがバレエを習い始めたからです。もう10年になりますね。娘たちに好きな事をやらせているのは観ているのも楽しいです」とにっこり！

これからまるごと実践チームでやりたいことを聞いてみると、「小美玉が大好きで小川が大好きで一歩も外に出たくないですね。子育てをした経験から、こんなことをしてみたいとか、こんなものがあったらいいなと会議の時に意見を出したいですね。これから子育てをする世代だけじゃなく、高齢者にも役割があると思うのでウィーンウインの生活がしたいですね。今、核家族が多いので大人の目があるって心強いですよね」と笑顔で話してくれたのが印象的でした。

まるごと実践チームに参加してみませんか？楽しい事が盛り沢山ですよ。(藤田佐知子)

「昔遊びとかたくさん知ってる人がいると思います。私が親の立場として子ども達に教えてもらいたいので得意な人を見つけたいですね。今年は夏休みに子ども達が朝早く起きて、山に探検に行つて、流しそうめんをやったり、すいか割りに参加してきました。楽しかった」って帰ってきました。